
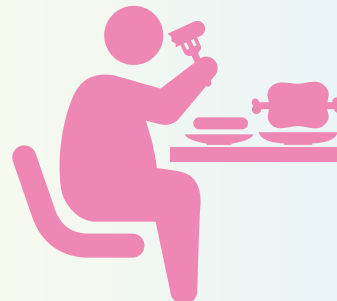


あなたの肥満体質を遺伝子にてチェック

肥満体質遺伝子検査

「肥満遺伝子」とは？ 

近年、肥満症は遺伝的要因も大きいことが研究により知られています。肥満に関連するとされる遺伝子のことを一般的に「肥満遺伝子」と呼びます。

「肥満遺伝子」と「体質」の関係は？ 

多くの肥満遺伝子は代謝に大きく関わるということが判明しています。両親、または片方の親から受け継いだ肥満遺伝子がリスク型の場合、通常よりも基礎代謝が落ちたり、筋肉が付きにくくなることから体に脂肪が付きやすいとされています。どの肥満遺伝子がリスク型であるかを調べることで、何を食べると太りやすい体質なのか、体のどの部分に脂肪が付きやすいのか等を知ることができると言われています。

また近年の研究では、肥満遺伝子には食べ物の嗜好にも大きく影響するものがあることがわかっています。これらのことから、肥満遺伝子について検査することはご自身の“肥満体質”を知るひとつの手段であると言えます。

“肥満体質遺伝子検査キット”では 代表的な肥満遺伝子のリスクがわかります！

本キットでは、日本人でよく調べられている代表的な4つの肥満遺伝子について検査します。

◆ 検査する遺伝子について ◆

遺伝子名	遺伝子の機能
FTO	食欲を高めるグレリンというホルモンの分泌を調整している遺伝子です。 (リスク型だと食後も食欲を感じやすくなります) また、脂肪を貯蔵する白色脂肪細胞が増えるのを抑える働きもあります。
UCP1	脂肪を燃焼する褐色脂肪細胞でADRB3と共に熱産生に働く遺伝子です。 細胞中に貯蔵された脂肪がミトコンドリアで燃焼されるのを活性化します。 (リスク型だと脂質がうまく消費されません)
ADRB3	脂肪を燃焼する褐色脂肪細胞でUCP1と共に熱産生に働く遺伝子です。 また、血中の糖分濃度を下げるインスリンの機能を調節しています。 (リスク型だと糖質がうまく消費されません)
ADRB2	呼吸・循環器系などの平滑筋におけるエネルギー消費や、脂肪細胞における脂肪燃焼に働く遺伝子です。 (リスク型だと脂質とともにタンパク質もよく消費されてしまいます)



ご自身の肥満体質を知り、
健康的な食生活を送るためにお役立てください！！



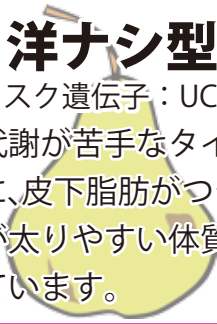
★代謝に関する遺伝子タイプは5つから判定★

大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学 特任准教授 勝谷友宏 先生 監修

洋ナシ型

(リスク遺伝子：UCP1)

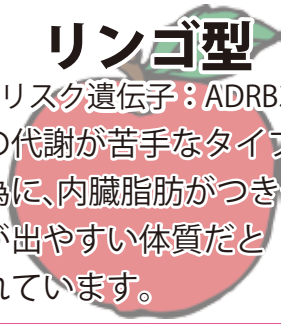
脂質の代謝が苦手なタイプです。その為に、皮下脂肪がつきやすく下半身が太りやすい体質だと言われています。



リンゴ型

(リスク遺伝子：ADRB3)

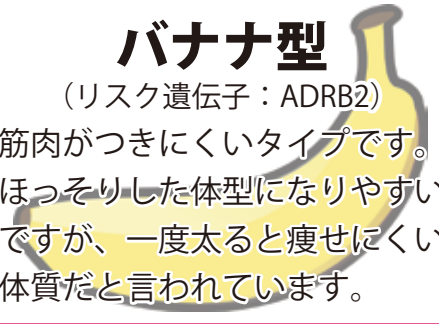
糖質の代謝が苦手なタイプです。その為に、内臓脂肪がつきやすくお腹が出やすい体質だと言われています。



バナナ型

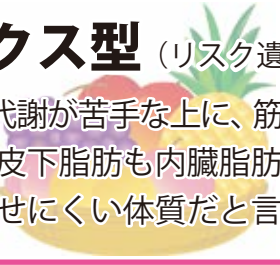
(リスク遺伝子：ADRB2)

筋肉がつきにくいタイプです。ほっそりした体型になりやすいですが、一度太ると痩せにくい体質だと言われています。



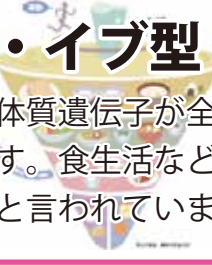
ミックス型 (リスク遺伝子3つ)

脂質と糖質の代謝が苦手な上に、筋肉がつきにくいタイプです。皮下脂肪も内臓脂肪もつきやすく、一度太ると痩せにくい体質だと言われています。



アダム・イブ型 (リスク遺伝子なし)

調査した肥満体質遺伝子が全てリスク型ではないタイプです。食生活などの生活習慣が大きく関わる体質だと言われています。



★食嗜好に大きく関わる遺伝子タイプも判定★

高カロリー嗜好タイプ

(リスク遺伝子：FTO)

高カロリーの食品を好み、食後も食欲を感じやすいタイプです。脂肪を貯蔵する白色脂肪細胞が多くなりやすい体質とも言われています。本検査ではこのタイプの遺伝的リスクの有無についても判定します。



検査は簡単!



検体採取日に溪仁会円山クリニックを訪問し検体を採取いたします。当日は手ぶらでお越しください。採取は担当の管理栄養士の監督のもと実施いたします。通常の健康診断等のオプションとしてもご利用いただけます。

- ①口の中をすすぐために水で2～3回うがいをして、20分以上経過してから採取してください。
- ②専用の綿棒で左右のほほの内側を、それぞれ10回程度こすってください。綿棒は付属の試験管に入れてください。



検査料金 **¥6,500** / 検体 (税別)

医療機関

医療法人 溪仁会 溪仁会円山クリニック

〒064-0820 札幌市中央区大通西26丁目3番16号

TEL: 011-641-1600 FAX: 011-641-1605

URL: <http://www.keijinkai.com/maruyama/>

※ このサービスの仕様は、予告なく変更する場合がございます。

※ このサービスは遺伝子解析を通じて疾患発症リスクや体質の特徴を予測するものであり、病気の診断を行うものではありません。

検査機関



北海道システム・サイエンス株式会社

〒001-0932 札幌市北区新川西2条1丁目2-1

☎ 0120-613-190

TEL: 011-768-5903 FAX: 011-768-5951

E-mail: kensa@hssnet.co.jp

URL: <http://www.hssnet.co.jp>